

令和2年度 第1回茂原市学校再編審議会 会議概要

- 1 日 時 令和2年6月23日（火）15時～17時10分
- 2 場 所 茂原市役所 市民室
- 3 出席委員 11名
中山会長、足立副会長、中村委員、齋藤委員、村澤委員、中村委員、
中瀬古委員、壁委員、秋葉委員、齊田委員、平井委員
- 4 出席職員 12名
教育長 内田 達也
教育部長 岩瀬 裕之
教育部次長（教育総務課長） 渡辺 裕次郎
学校教育課長 金澤 勤
学校教育課主幹 金坂 暁
教育総務課長補佐 川崎 弘道
教育総務課学校再編推進室長 田中 憲一
教育総務課副主幹 豊田 実
教育総務課総務係長 小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室 紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室 深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室 狩野 久志
- 5 傍聴者 13名

会議内容（進行：川崎補佐）

- 1 開会 午後3時
茂原市学校再編審議会条例第6条第2項に基づき、出席委員11名で過半数を達しており会議成立。
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 議事
条例により会長が議長となるため、議事は会長が進行となる。

報告（１）学校再編の進捗状況について

事務局より【当日資料１、２】を用いて説明。

委員：今回のコロナウイルスの関係により学校規模に変更はあるか。

事務局：茂原市は千葉県の基準に準じて、小学生の３学年までと中学校１年は３５人、それ以外は３８人で編成している。コロナウイルス感性拡大防止の対策として３密を避けるようにしており、現状を鑑みながらできる範囲で対策を講じている。例えば、机同士の距離を広くしたり、グループ活動も控えるようにしている。学級数を変更する予定はない。

委員：茂原市内の感染者は３人のまま推移しており、感染リスクは低いと思うが、今後感染者が増えたとき何か対策が必要なのではないか。

事務局：各学校で３密を避けた学習を継続する。６月の第２週から学校は始まっているが、児童生徒たちに手を洗うことや、適度に換気を行うなど、できる限り対策はしている。今後感染者が増えた場合、どのような対策を講じるかは協議していく。

委員：当日資料１に記載の二宮小と緑ヶ丘小のスクールバスの導入について、保護者説明会はどのくらいの時期に実施予定なのか。また、学童の状況も教えていただきたい。

事務局：スクールバスの説明会は６月の補正予算が可決されたので、早期に事業者の選定を行う。事業者が決定次第、運行の内容については早い段階でお知らせできればと考えている。学童については、緑ヶ丘小学校の教室が利用できることになったので、詳細については担当課である子育て支援課から今後説明がある。

報告（２）本納小学校の移転について

事務局より【当日資料３】を用いて説明。

委員：新校舎について延べ面積や部屋数など教えてほしい。

事務局：建設費用は５億に近い額となる。鉄筋コンクリートの３階建てで、８教室を予定しており、延べ面積は１，０４０平米である。昇降口、給食用の配膳室、各階にトイレも設ける予定である。既存校舎の一部を職員室にすることも計画している。

委員：８教室は何年先を見通して設計したのか。

事務局：今後本納の３小学校の統合を議論することになるが、令和７年の統合を見据えており、本納中学校も同様に減少していく見込みのなかで８教室を設計した。

- 委員：令和7年は新治小、豊岡小の3校が統合しても問題ないという考えでいいか。
- 事務局：令和7年には本納中学校の空き教室も出てくる見込みであるため、空き教室の活用も含めたうえで問題ないと考えている。
- 委員：ハザードマップについて、昨年の水害により本納中前の道路で、子どもたちの腰まで浸かる状態があった。本納中は浸水区域から外れたみたいだが、変更理由は何なのか。これで安全なのか。具体的に何か工事はしたのか。
- 事務局：本納中北側の踏切あたりで冠水したが、出入り口の一部に浸水があっただけで、建物には入っていない。本納小の建設予定地にも水は入ってきていない。ほかの地域でも浸水被害はあり、児童生徒が学校で泊まったケースもある。そのため、教育委員会では大雨警報等が出た場合は、保護者が迎えに来ることは危険性が高いため、学校に児童生徒がいる場合は留め置き、安全に迎えに来られる状況になったら引き渡しするように災害用のマニュアルを策定した。これは学校から保護者へお知らせしている。学校は安全であるということをもっと保護者へ周知していかなければならないと思っている。今後は、子どもたちが水に浸かって帰るようなことがないように周知に努めていく。保護者の不安が払拭できるように丁寧に説明していきたい。
- 委員：校舎に浸水はなかったことはわかったが、水害だけでなく、普段から通学路の危険性について対応はないのか。
- 事務局：通学路の危険個所については、学校と連携をとり、できる限り安全対策を施すように努めていく。
- 委員：学校周辺の整備がされていないと孤島になってしまう。そのあたりの整備については。
- 事務局：赤目川の改修が関係しているところである。県や関係部署には早急な改修をお願いしている。また、危険個所については先生方にも確認はお願いしており、今後も危険回避に努めていく。
- 委員：新校舎の8教室は特別教室も含まれているのか。
- 事務局：普通教室だけである。英語ルームなどの特別教室としての利用も検討していく。
- 委員：中学校の空き教室の活用について、以前の審議会で小学校と中学校とでは階段の高さが違う等の意見もあったが問題はないのか。小学生の高学年は問題ないと思うが、小学生の低学年は危険ではないのか。将来3校統合の際に、旧校舎の建て替えは検討していないのか。また助成金の額はいくらぐらいなのか。
- 事務局：階段の安全対策については、手すりを設置する工事を行う。実際に本納小の子どもたちと校舎内を歩いて回ったり、蛇口からお水が飲めるかなど検証した。安全対策は実施していく。国の負担金は1億円程度の見込みである。
- 委員：手すりを設置しても緩和にはならない。直さなくてはならない。
- 事務局：施設整備に関する基準があり、中学校を既存校舎として活用する場合は緩和措

置がある。その基準に基づき、手すりを設置し安全対策に努めていく。

委員：本納小学校の移転について、崖の危険性を回避するためが一番の理由だと思いが、移転するにあたり、保護者たちの不安があってはいけないと思うので安全安心であることを周知するべきである。

議題（１）令和２年度学校再編審議会のスケジュール（案）について

事務局より【当日資料４】を用いて説明。

委員：第２回の学校見学について具体的に何をするのか。

事務局：大規模校と小規模校の授業風景や部活動の状況を見ていただく。

委員：部活動までということは時間をかけて見学するのか。

事務局：終了は１７時頃を予定しております。

議題（２）第二次実施計画における小中学校の具体的な再編方法について

事務局より【資料１、２、３】を用いて説明。

委員：小学校の児童数の推計について、２０４０年度は思ったより減少していないように思えるが、どのように推計したのか。また、適正な学級数について、１クラスの人数を３５人以下、または３８人以下に設定した理由は。

事務局：適正な学級数について、国の定めた基準は小学生１年生が３５人学級、それ以外は４０人学級を標準としている。少人数学級のほうが先生の目がいき届くため、千葉県では３５人以下、または３８人以下としている。子どもたちがいろいろと活動をしていくなかで、ある一定の人数や学級があったほうが教育の効果は大きく出る。そのため適正規模に満たない場合は、調整していく必要がある。２０４０年度の人口推計は人口ビジョンを基礎数値としている。コーホート変化率法を用いて算出している。直近の５年間の変化率を基に、将来の人口を推計している。

委員：統合したときのスクールバスについて、適用範囲の考え方や運行内容、１台あたり何人乗れて、何便出するのか。

事務局：現在、二宮小学校と緑ヶ丘小の統合により、スクールバスの導入を予定している。運行便数は朝１便、下校時は低学年、高学年、部活等のため３便を考えている。遠距離通学については４キロ以上としているが、厳密ではなく地区で考え

ている。保護者についてもご理解はいただいている。ほかの地区で統廃合がある場合はこのような考え方となる。金額については、まだ入札前であるため回答できない。

委員：4キロの基準については、杓子定規ではなく臨機応変にお願いしたい。

委員：早野中学校の部活動について、サッカー等の部活は適正な人数で行われているのか。生徒たちは希望している部活に入れているのか。二宮小では人数の都合により仕方なく部活に入っている子もいると聞いたことがある。

委員：入学式前に校長先生たちと話をした内容になるが、部活動の維持は大変困難であるとのことだった。サッカーや野球などの団体競技については、今後どう維持していくか協議が必要で、最悪、部が無くなることも想定される。今年はサッカー部には10人くらい入るみたいであり、うまく人数はばらけたみたいである。女子について詳細はわからない。

委員：子どもたちの希望はなるべく叶えてあげたい。統合についてそろそろ考えていかなければ。

委員：二宮小と緑ヶ丘小が統合となると、次は早野中ではないかと考えている。その場合はどのように進めることになるのか。

事務局：審議会のなかで統廃合の時期等を意見交換し協議していただきたい。この場で意見等いただきたい。

委員：早野中は五郷小と昔から一中一小の関係である。五郷小の人数をみると明らかに児童数は減っていくだろうと思われるので、統廃合の議題となるだろう。気にされている保護者もいる。

議長：市内に住んでいる子どもたちにはなるべく同じような経験をさせてあげたい。やりたい部活ができないことは可哀そうである。そうすると、否応なしに統合という方法しかないのではないか。では、どこの学校とどこの学校が統合したらいいのか、いろんな条件を含め考えていかなければならない。委員の皆さまの意見は、今後、学校を視察したり、PTAからご意見を伺ったりしながら固めていくことになる。

委員：早野中であれば、そこから近い南中が妥当なのではないか。

委員：資料の5ページについて、茂原市を北と南に分けてみると、ほとんどが統合する必要があるのではないか。早野中が南中に統合されると、いずれは北と南は1校ずつになる。すぐに統合すればいいという話ではないと思うので、子どもたち優先で考えていかなければならない。本納中学校区はその真っ只中にいる。親も子どもも揺れている。まずは安心だということが一番に伝えてほしい。

議長：私たちがやらねばならないことは、子どもたちをどう成長させていくかだと思う。市政をはじめ、学校や保護者、自治会、審議会などいろいろな組織で良い方向になるように話し合いを進めていかなければならない。終戦後は学校が増え

ていたが、今では各学校の児童生徒数は減っている。プラスの面もマイナスの面もある。ただ、子どもたちがやりたいことができる環境をつくるには、ある程度の規模が必要である。幼稚園、保育所も同様である。茂原市は最終的には北と南で2つの園しかできなくなる。

委員：令和2年2月4日に諮問が出ており、学校再編基本計画に記載されている第二次実施計画について検討するとされている。第一次実施計画に記載している本納地区の統合は進んでいないみたいだが、早野中についても課題があると記載されている。2020年度にできなかったことも含めて、第二次実施計画を策定していかなければならないのか。そこも含めて、子どもたちにとって良い学校づくりができるのかを審議するということでよろしいか。

議長：課題をもってスタートしている。5年先、10年先を見据えて、どういう方向で進めていくか検討しなければならない。そのような考え方でいいと思う。

委員：傍聴者もお話しづらいとは思いますが、平成29年11月に答申を出しており、そのなかで本納地区の3校を速やかに統合するとされているので、ここでその話が出なければならない。当時、新治小に入学した児童は3人しかいなく、これはもう統合しかないというのが始まりであった。その子どもたちは、もう4年生である。地域住民にはいろいろと思入れはあると思うが、これからを考えたら早いほうが子どもたちにとって良いのではないか。中学校に進学したときに、小学校のときの同級生が3人はいかなものか。早野中学校は一小一中であり、小学生の人数が減っていく現状では、南中学校との統合も考えていかなければならない。

委員：この審議会は諮問機関であるのであれば、委員の意見が必ずしも通るわけでもないという認識でよろしいか。

事務局：委員の意見等は尊重するが、必ず通るものではない。

7 その他

事務局：本納小学校の移転について、本納中は14教室ある。今年度は7クラスのため、7教室余っている。そうした空き教室の活用も含めて、崖の問題があり、本納小は本納中の敷地内に移転する要望書が出た。本納小、新治小、豊岡小が統合された場合は、推計上、各学級は2クラスを見込んでいるので、全体では12クラスとなる。中学校は当面6クラスで推移していくと見込んでいる。新校舎は8教室のため、不足する教室については、本納中の空き教室を活用することになる。施設一体型の小中一貫教育は全国的にも増えている。その半数以上は、中学校の校舎に小学校が入るかたちである。そのような情勢のなか、施設の設置基準は緩和されている。例えば、長南中では小学生の高学年が中学校の空き教室を利用し

ている。実際に、本納小の児童たちと一緒に本納中の校舎内を歩いて回ったり、階段を上ったりしてみたが、小さい子でも問題はなかった。ただ水道の蛇口から水を飲む場合に少し届かないことがあった。ハザードマップについては、本来、本納中は浸水していないにもかかわらず浸水区域となっていたため、浸水区域から外しただけである。令和元年10月25日の大雨による被害は、本納地域だけでなく茂原市全体で生じている。家に帰れなくなった子どももあり、学校に泊まった子どももいる。市内中学校7校のうち4校で計83人の子どもたちが学校に泊まった。ちなみに、本納中は全生徒が帰れている。早野中、南中、富士見中は20人を超えており、浸水が大きかった。今回、学校は浸水していないが、最近の異常気象は想定を超えているので、今後も大丈夫とはいえない。茂原市じゅうの通学路を浸水しないようにすることは現実的ではない。日本全国でも同じような事態が起きている。そこで、大雨警報等が出た場合の対応について、市教育委員会で非常変災時のマニュアルを策定した。午前6時の段階で警報が出ている場合は、学校を一斉休校とする。登校した後に警報が出た場合は、子どもたちは保護者引き渡しとする。保護者が迎えに来ることが危ない場合は、子どもたちは学校に留め置き、無理して来ないよう通知している。このことはHPにも掲載している。今後は、このような対応をとる。

8 閉会 17時10分